

釧路市は国際バルク戦略港湾に 名乗りをあげましたが・・・



日本共産党
村上かずしげ

「国際バルク戦略港湾」という言葉を聞いたことがありますか。コンテナや液体以外のバラ積み荷物を「バルク」と言って、国は、石炭・鉄鉱石・穀物の3つのバラ積み輸入貨物は、日本国内で集中的に輸入する港を決め、そこに大量に輸入、そこから国内の消費地に小分けして運ぶことを構想、今年12月に輸入港＝「国際バルク戦略港湾」を指定する予定です。釧路港は西港の第2埠頭を念頭に穀物の輸入港に立候補しました。

指定の条件は-17mの埠頭建設

指定の条件は、2015年に深度14mの埠頭、2020年には-17mの埠頭を整備することで、かなりの地元負担が予想されます。身の丈を越えた過大投資は、結果として市民のくらしや福祉の予算にしわ寄せされることとなります。

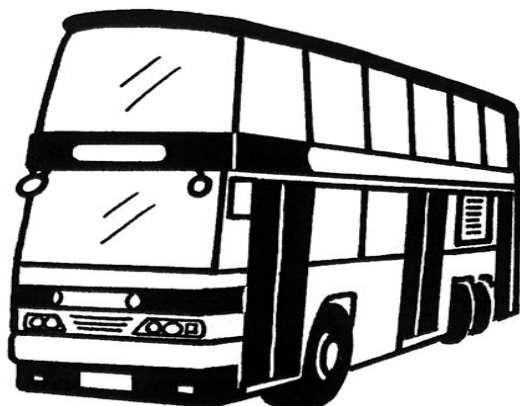


活性化は巨大な港づくりではなく、暮らし・福祉を最優先で

阿寒中前のバス停を残して

阿寒町・布伏内間がバスからタクシーに転換される見込みですが、住民から、「阿寒中前の停留所は利用者も多いことから、中央公園のところを始発ではなく、阿寒中前を始発にしてもらえないか」との要望が寄せられました。早速、阿寒バスと釧路市にその旨を連絡、要望に応じていただけるよう要請しました。

近くに公営住宅もあって高齢者の方もたくさん住んでいます。近くのバス停がなくなるのと、本当に困りますね。



道立阿寒湖畔診療所の 医師が決まりました

診療所の心配されていた道立阿寒湖畔診療所のお医者さんが決まりました。前任の医師の退職が決まりました。私も6月議会での医師確保を質問、共産党議員団としても直接、北海道庁や釧路総合局（支庁）にも要請してきましました。着任された関係者のみなさん、ありがとうございます。



村上かずしげ通信 2010年 8月15日
発行 日本共産党釧路市議団 23-5212

この通信は、政務調査費で作成しています。